

UNITED FOR A JUST FUTURE

IndustriALL Global Union 3rd Congress
14-15 September 2021

緊急決議：韓国の結社・集会の自由を求める闘いと連帯

韓国政府は、ILO 第 87 号、第 98 号（結社の自由）および第 29 号（強制労働）条約の批准によって国際社会の注意をそらしたという冷酷な打算のもと、パンデミック管理にかこつけて結社・集会の自由を攻撃している。

2021 年 9 月 2 日未明の一斉検挙で 2000 人以上（41 部隊）の警察官が組合本部の建物を包囲し、ヤン・ギョンス韓国民主労総（KCTU）委員長が強制的に逮捕された。韓国金属労組（KMWU）組合員の自動車労働者であるヤン委員長は、ソウル拘置所に移送された。

逮捕状が発行されたのは、7 月 3 日の集会で、政府に不平等（パンデミックによって悪化）への取り組みと、労働安全衛生を守るための緊急行動を要求したあとのことである。参加者は、マスク着用、ソーシャルディスタンス、検温など、政府の予防ガイドラインを慎重に遵守した。

当局は、この集会にコロナウイルス第 4 波の張本人の罪をかぶせるために、組合幹部・組合員の幅広い調査を開始した。しかし、韓国疾病管理予防センターによる接触者追跡の結果、この集会から COVID-19 陽性症例は出ていないことが分かった。韓国の市民社会組織の指摘によると、政府は 7 月上旬、球場やサッカーの試合、さらには屋内の音楽コンサートにも数千人が押し寄せることを許可し、集会だけが感染症拡大を理由に禁止された。

工場でも、KMWU 現代製鉄不安定労働者支部は合法的にスト権を得ているが、警察は COVID-19 拡大防止にかこつけて、数十台の警察バスで鉄鋼工場前のスト集会エリアを封鎖した。現代製鉄は、下請労働者の直接雇用を義務づける裁判所の判決を受け入れ、現代製鉄で不安定労働者を直接雇用すべきである。だがそれどころか、現代製鉄は団体交渉を拒否し続けており、労働者の経済的な請求権と現代製鉄で直接雇用される権利を放棄する契約書に署名することを条件として、ITC という新設の子会社での間接雇用への移行を受け入れなければ、下請労働者を解雇する

と言って脅している。さらに現代製鉄は、この進行中のストの最初の 9 日間に被ったとする損失、200 億韓国ウォン（約 1720 万米ドル）を求めて、180 人の不安定労働者を訴えている。

2017 年のキャンドル革命が前政権を打倒し、EU-韓国 FTA の持続可能な開発に関する章を利用した最初の労働権争議を受けて、韓国政府が ILO 第 87 号条約および第 98 号条約を批准したあともなお、労働組合と結社の自由を取り巻く韓国の環境は依然として非常に厳しい。

インダストリアルは、ヤン KCTU 委員長の釈放を要求し、韓国政府に結社・集会の自由に対するこの取り締まりを直ちにやめるよう求める。労働者の権利を抑圧している企業と闘っている韓国の組合を支援し、結社・集会の自由に対する労働者の権利への基本的な期待を満たすシステムを開始するために、インダストリアルと加盟組織は、

- 10 月 20 日の KCTU ゼネストを支持するとともに、基本的労働組合権と不安定雇用撤廃に向けた労働法改革、公正な移行、より強力な公共サービスおよび社会的保護を求めて闘う。
- 多国籍企業に対し、結社の自由を尊重するとともに、組合権・労働権の擁護、企業による脅迫や抑圧への対抗、韓国における企業レベルを超えた団体交渉取り決めの改善のために、連帯を結集するよう要求する。
- 国際法（ILO 第 87 号条約および第 98 号条約、国連国際人権規約、OECD 多国籍企業行動指針に基づく義務）のもとで韓国の労働権・人権義務を監視し、それらの権利を法律と慣行において完全に実施するとともに、適切な場合は、外交・貿易関係を利用してこれらの権利を履行するよう韓国政府に要請する。

